

かわむらしんじょう  
河村新城跡

山北町 No.15 遺跡



1.調査区全景



2.馬出し遺構



3.橋



4.掘立柱建物

●主な調査成果

河村新城（以下新城）は発掘調査によって全体的な様子が分かる数少ない中世城郭です。山頂部分を中心とした掘立柱建物群、堀、馬出しや城内に通じる橋、門跡が検出されました。

特筆すべきは、馬出しと呼ばれる遺構が検出されたことです。馬出しとは、城の出入り口である虎口の外側に設けられた曲輪のことで、新城では土橋や木橋を巧みにつないで築かれたことが分かりました。これらのことから山頂の主郭から搦め手(裏口)付近まで、複雑な構造をもつことが判明しつつあります。

出土遺物は土器や陶器、舶載磁器、鉄砲玉、鉄鏃といった、食膳具や調理具、貯蔵具、武器など多彩です。後北条氏の城館構造を知る上で重要な成果が得られました。

- 調査期間 2018年12月16日～2021年3月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世
- 所在地 山北町川西
- 遺跡位置 JR御殿場線谷峨駅から北西約1.6Kmの丘陵上

